

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法第 12 条第 1 項の規定により、許可を申請 します。 令和〇年 〇月 〇日 (申請先) 横浜市長 申請者 氏名 横浜 太郎		※手数料欄	
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	住所： 横浜市〇〇区〇〇… 氏名： 横浜建設 株式会社 電話番号： 045 (〇〇〇) 〇〇〇〇 (住所： 横浜市〇〇区〇〇… 氏名： 代表取締役社長 横浜 太郎)	
2	設計者住所氏名	住所： 横浜市〇〇区〇〇… 氏名： 〇〇設計 △△ 電話番号： 045-〇〇〇-〇〇 申告番号： 〇〇	
3	工事施行者住所氏名	住所： 横浜市〇〇区〇〇… 氏名： 〇〇建設 △△	
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	横浜市〇〇区〇〇町〇〇番の〇の一部 外 (緯度： 〇〇度 〇〇分 〇〇.〇秒 経度： 〇〇度 〇〇分 〇〇.〇秒)	
5	土地の面積	〇〇.〇〇 平方メートル	
6	工事着手前の土地利用	宅地	
7	工事完了後の土地利用	宅地	
8	盛土のタイプ	平地盛土 ・ 腹付け盛土 ・ 谷埋め盛土	
9	土地の地形	溪流等への該当 有 ・ 無	
10	イ 盛土又は切土 の高さ	盛土	〇.〇〇 メートル
		切土	〇.〇〇 メートル
	ロ 盛土又は切土 をする土地の面積	盛土	〇〇.〇〇 平方メートル
		切土	〇〇.〇〇 平方メートル
		合計	〇〇.〇〇 平方メートル
	ハ 盛土又は切土 の土量	盛土	〇〇.〇〇 立法メートル
切土		〇〇.〇〇 立法メートル	
合計		〇〇.〇〇 立法メートル	

申告番号があれば記入

原則は工事施行区域に含まれる地番をすべて記入してください。ただし記入しきれない場合は最も面積の大きい筆を代表地番として記載してください。

緯度及び経度は、秒について小数第一位まで記入してください。

記載事項が多い場合はチェックをして別紙に記載してください。

10 工事の概要	ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		1	RC造	3.0メートル	○.○メートル
		2	間知石練積み造	5.0メートル	○.○メートル
		■別紙のとおり。			
	ホ 崖面崩壊防止施設	番号	構造	高さ	延長
				メートル	メートル
				メートル	メートル
		■別紙のとおり。			
	へ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長
		1	U字側溝	26センチメートル	30メートル
			センチメートル	メートル	
	■別紙のとおり。				
ト 崖面の保護の方法	切土面については張芝、盛土面については筋芝				
チ 崖面以外の地表面の保護の方法	切土面については張芝、盛土面については筋芝				
リ 工事中の危険防止のための措置	(1) 工事中は仮囲いを設ける (2) 排水施設を設け、土砂の区域外への流出を防止する。				
ヌ その他の措置	軟弱地盤については地盤改良を行う。				
ル 工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日				
ヲ 工事完了予定年月日	○年 ○月 ○日				
ワ 工程の概要	別途工程表のとおり				
11 其他必要な事項	予定建築物 戸建住宅【3宅地】				
※受付欄		※決裁欄		※許可にあたって付した条件	
年 月 日				※許可番号欄	
第 規 号		別紙のとおり。		年 月 日	
係員氏名				横浜市 建 調 整 指 令 号 第 規 号	
				係員氏名	

〔注意〕

- ※印のある欄は記入しないでください。
- 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 3欄は、未定ときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
※ 横浜市では、審査基準により、工事施行者を未定とすることはできません。
- 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 8欄は、該当する盛土タイプに○印を付してください（複数選択可）。
- 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。

※正副照合済	※受付印
年 月 日	